

平成 25 年 2級建築士学科試験 講評（2013/7/8 更新版）

はじめに、全国的な猛暑のなか受験された皆様、本当にお疲れ様でした。
持っている力を存分に発揮することができたでしょうか。

1. 今年の試験は易しかったか、難しかったか

今年の試験の難易度は、特に法規の影響を受けて、全体として昨年より難しかったと言えます。
また、全体的に過去の出題の記述そのままではなく、表現を変え、考えさせる出題が多く見受けられます。

科目別に見ると、

- 計画：昨年は非常に難しかったのですが、今年は例年よりもやや易しかったと言えます。
- 法規：非常に難しかったと言えます。昨年も難易度が上がりましたが、今年はさらに難化しています。暗記が通用せず、法令集の条文で一枝ずつ確認をしなければ正誤が判断できない問題が多数を占めました。また、設問の前文の見落としが致命傷になる問題（No. 5 延べ面積 140 m²、No. 14 特定行政庁の許可は受けない）も見受けられました。なお、関係法令は昨年 5 問に増えましたが、今年も同様に、内容的には規則までさかのぼらないと解答できないものも多く見受けられました。
- 構造：昨年よりもやや難しかったと言えます。
- 施工：過去の出題から表現を変えた問題が多く、判断に迷う選択枝が散見されました。また新規問題が解答枝となる問題も多くあり、得点しにくかったと言えます。

合格基準点は、各科目とも 13 点、総得点 60 点が原則とされています。平成 18 年から平成 23 年まではずっと原則どおりでした。ただし、昨年「構造」が難しかったために基準点が 12 点に補正されたのと同様に、今年は、「法規」と「施工」の基準点が補正される可能性があります。

2. 解答番号は？

試験機関からの正式な発表は 8 月 27 日の合格発表を待たなければなりません、TAC では解答速報を試験翌日の 8 日（月）13：00 から公開する予定です。

登録は不要です！

解答番号も個人情報も一切入力不要ですので、お気軽にご利用ください。

二級建築士学科試験解答速報ページ URL

http://www.tac-school.co.jp/sokuhou/kenchiku/2_gakka.html

3. 今年の試験は何が変わったか 何か変わったか

平成 24 年から「試験内容の見直し」が行われ、出題内容については、①建築物の設計及び工事監理に関する技術の進歩・高度化、②環境問題、③社会構造の変化、④法令の改正等を踏まえ、適宜、見直しを行うと発表されました。

全体的な出題の構成は昨年とほぼ同様ですが、内容的には、次のような新規問題が出題されています。

主な新規問題のテーマ

今年の試験では、次のような新しいテーマの問題が出題されました。

- 計画：日本銀行本店、吸音特性の図問題、オープンコア、スタッグ式、高齢者福祉施設（機能訓練室）、障害者福祉施設（授産（作業）室）、サーモスタット湯水混合水栓、潜熱回収型ガス給湯器、太陽光発電システムのパネル設置角度、デシカント空調、Low-E ガラス。以上、環境問題に配慮した問題が数多く出題されています。
- 法規：長期許容応力度と短期許容応力度の割合（No. 6）、天空率を算定する位置（No. 18）、適用除外（No. 20）、昨年と同様に関係法令から 5 問出題（No. 21～25）。「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」から単独で 1 問出題（No. 25）
- 構造：風圧力の計算、液状化の判定、剛性率・偏心率の定義、耐震改修・耐震補強等
- 施工：木造住宅の基礎工事、昨年同様に木工事から 2 問出題。また、請負契約約款の問題では、新たに「民間建設工事標準請負契約約款（乙）」からの出題があったほか、防水屋根工事、建具工事、改修工事等に新規問題が見られました。全般的には、より 2 級建築士としての業務を意識した出題傾向でした。

4. 製図試験対策

学科試験合格見込みの方は、さっそく設計製図対策をはじめましょう！

厳選された課題・カリキュラム！「二級建築士 設計製図本科生」（全 7 回）

公表された本試験課題に基づき、プランニングから製図完成まで、合格レベルの設計力を養成する設計製図対策コースです！

→ 2013 年合格目標「二級建築士 設計製図本科生」の詳細はこちら

無料体験講義を開催！「設計製図プレ講義」＜参加無料・予約不要＞

今年度課題の特徴や攻略のポイント、製図用具の具体的な使い方等についてお伝えします。実際の講義の雰囲気を感じいただけます！

→ 2013 年合格目標「二級建築士 設計製図プレ講義」の詳細はこちら

5. 来年の学科試験対策

① 構造力学と法規の克服

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」については、早い段階で基礎を理解しておくことが大切です。また、今年残念な結果だった方は、試験後、あまりブランクを設けずに学習を継続することが大切です。

② 最新の出題傾向に対応した学習

TACでは、最新の出題傾向に対応し、特に次の内容を充実させた教材を作成しています。イラストを豊富に用いながら試験の出題ポイントをわかりやすく講義していきます。

■計画：環境問題

■法規：建築士法、関係法令の充実

■構造：耐震設計、技術の進歩・高度化

■施工：廃棄物の処理・改修工事

③ 法改正への対応

法令の改正等についての最新の情報にも注意が必要です。

例えば、省エネルギー法の改正により、「計画」で頻繁に出題されている熱損失係数、CEC（エネルギー消費係数）が廃止され、それぞれ、外皮（がいひ）平均熱貫流率、一次エネルギー消費量に指標が代わるため、その理解が不可欠となります。

また、「施工」でもプレキャスト鉄筋コンクリート工事、断熱工事、塗装工事などで規準が改定されています。

万全の対策で合格を実現する！「二級建築士 総合学科本科生」（全50回）

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」について年内に基礎を固め、年明けの「本講義」に合流するコースです。充実のカリキュラムで合格まで導きます！

→ 2014年合格目標「二級建築士 総合学科本科生」の詳細はこちら

「二級建築士 奨学生選抜試験」＜受験無料＞

TACは「奨学生選抜試験」を開催し、来年度の建築士試験合格を目指すみなさまをサポートします。受験者全員に「受講料10%割引&入会金¥10,000 免除券」を進呈。さらに、成績上位者は対象コースの受講料が「最大80%割引」になります。ぜひ受験ください！

→ 2014年合格目標「二級建築士 奨学生選抜試験」の詳細はこちら

以 上